

授業アンケート回答率の向上ために

(以下の文面は教育支援課・教務支援係の2022年7月13日付け配信メールから一部転用したものです)

高等教育開発センターでは、令和4年度第1クォーターの授業アンケートで高い回答率(受講者数50人以上で回答率70%以上)を記録した授業科目を対象に、回答率を確保するための取り組みについて調査を行いました。その結果、以下の情報を提供していただきましたので、回答率向上のための参考情報として、お知らせいたします。

回答率向上のための取り組み事例(数値は回答率の実績)

- ・特別の対応はしていないが、授業時間内の回答を徹底する。(70-100%台)
- ・時間内・教室内の回答ができない場合は、manabaで回答を依頼する。(70-80%台)
- ・授業の終わりではなく、授業のはじめに実施する。(70%台)
- ・授業期間ではなく、定期試験の時に実施する。(70-80%台)
- ・小テストの解答に続き、授業アンケートの回答も行う(又はその逆)。(80-90%台)
- ・小テストで、授業アンケートに回答したかどうか、問いかける。(90%台)
- ・回答時間の間、スクリーンにアンケート回答の注意事項を投影しておく。(70%台)
- ・特別の対応はしていないが、普段から学生とのコミュニケーションに留意。(70%台)

全体として、時間内・教室内での回答が、単純ながらも回答率向上の手段として有効であること、回答率向上の秘策などなく、むしろ日頃の学生とのコミュニケーションこそ重要であることなど、確認できるように思います。全ての授業科目において適用できるとは限りませんが、必要に応じて参考にさせていただきますよう、お願い申し上げます。